

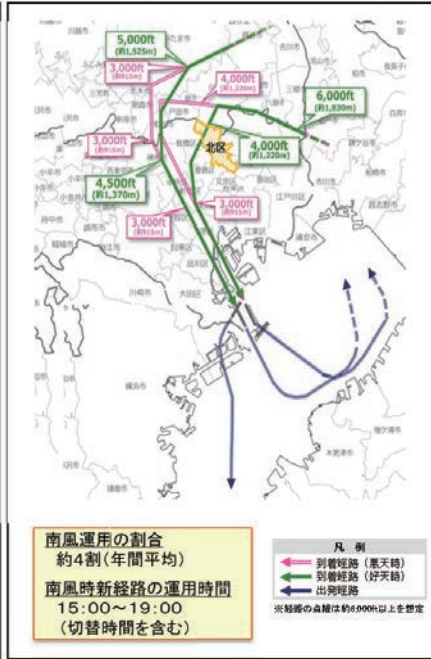


都心部上空を飛行

【北風運用】



【南風運用】



羽田空港新飛行経路

「機能強化」の名で 住民生活を脅かす

11月29日に開かれた北区議会区民生活委員会で、羽田空港の新飛行経路見直し等を求める住民陳情の審査がおこなわれました。国交省による新経路は、空港の「機能強化」の名で首都圏直下の住民生活を脅かすものであり、日本共産党は陳情の採択を主張しました。(のの山けん)

陳情は、「羽田空港の飛行経路について、北区は現在も出発便の通過地点であるのに、新飛行経路は、出発、到着便とも現在より低空で増便となる」とのべ、

「羽田空港の新飛行経路の飛行下の住民として、飛行経路、高度、回数の変更から国土交通省と東京都に強く働きかけることを求め」ています。

騒音、落下物―都内各地から心配の声

審査で私は、新経路について都内各地の沿線住民から騒音や落下物を心配する声があがっていることを紹介。北区でも南風好天時には1時間に30機、2分に1機が赤羽北付近を通過し、騒音と落下物の危険が増すことは避けられないと指摘しました。

さらに、「京浜島上空を飛行しない」(大田区)、「東京国際空港に離発着する航空機は原則として川崎

石油コンビナート上空を避け、適切な飛行コースとする」(川崎市防災計画)など、国交省が安全性確保のために関係自治体と結んでいる取り決めが、「機能強化」のために反故にされること、があつてはならないとのべ、「国交省の説明はオープンハウス型ではなく、教室型でおこない、住民の疑問に正面からこたえるべき」と指摘しました。

一方、自民党は「国交省で十分検討した結果の新経路」と、公明党は「東京オリンピックを成功させ、海外の人を受け入れるためには空港の拡充は避けて通れない。便を増やすためには(新経路に代わる)対案はない」などと主張しました。採決では、日本共産党と新社会党の無党派議員が採択を主張しましたが、自民、公明、民進クラブが不採択を主張し、陳情は不採択となりました。

区民生活委員会でしめされた羽田空港新飛行経路に関する資料

北清掃工場 建替えへ

地域住民、補助86号線拡幅による環境悪化を懸念

11月29日に開かれた北区議会区民生活委員会で、志茂1丁目にある北清掃事務所の建替え計画が明らかにされました。

23区内にある清掃工場については、2000年4月の清掃事業の移管により23区が設置した東京二十三区清掃一部事務組合（清掃一組）が管理運営をおこなっています。が、このほど清掃一組から、1998年3月に竣工した現在の北清掃工場を建替える計画と、そのスケジュールが示されました。

来年2017年4月には事前調査等を実施し、年度内に「北清掃工場建替計画」を策定、21年度までに環境影響評価をおこない、22年度から3年かけて解体、25年度から新工場建設に着手し、27年度中に完成の予定です。

7日に開かれた北清掃工場運営協議会では、地域住民らでつくる「北清掃工場の環境を考える会」から、補助86号線の拡幅によって交通量が増加し、周辺環境が悪化する事について懸念が表明されました。



建替え計画が発表された北清掃工場

障害者作品展

3日と4日に北区障害者福祉センターで開かれた障害者作品展。アイマスクをしての視覚障がい体験コーナーでは、5分歩いただけで汗びっしょりに。力作ぞろいの作品も鑑賞しました。（のの山けん）



東京日韓親善協会連合会 創立40周年祝賀会

6日、東京日韓親善協会連合会創立40周年祝賀会が上野精養軒で盛大に開かれました。日本共産党からは、和泉なおみ都議と各区の親善協会・日韓議連に所属する区議会議員が出席しました。今後とも、日韓親善に力を尽くします。（のの山けん）



第2部はギターと歌のアトラクションなどで盛り上がりました